

石川県立自然史資料館の令和4年度管理状況

様式 1

施設所管課	教育委員会生涯学習課
施設管理者	特定非営利活動法人 石川県自然史センター 理事長 高木 政喜
指定期間	令和4年4月1日～令和8年3月31日
中期経営目標 (R4～R8)	①入館者数を5年間で、7,000人にします。 ②館外事業（体験講座、ミニ講演会、野外観察会等）の参加者数を5年間で3,200人にします。 ③利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	・3つの館外展示（「いしかわ自然学校インストラクターの世界」（新規）、「いしかわの里山里海展2022」、「マナビィフェア in 本多の森2022」）を開催しました。（参加人数2,588人） ・企画展「地球温暖化 生きものたちへの影響」 「切って、磨いて、中をみよう 鉱物・岩石・化石切断研磨標本」「草木染めの自然史」を開催しました。（参加人数2,060人） ・普及講座「アンモナイトのレプリカ作り」や自然史講演会「クジラの死体に群がる生きものたち 金沢市大桑で発見された化石からわかったこと」など、計22回実施しました。（参加人数229人） ・「シンポジウム みんなで調べる生物多様性！ 「いしかわ生きものマップ」づくり～市民科学とスマホAIアプリの活用～（オンライン）」（新規企画：資料館主催・石川県立大学緑地環境学研究室共催、参加人数140人）、 「五箇公一氏講演会 新型コロナは生き物たちからの警告」（新規連携：県立図書館と連携、参加人数90人）、 「近代化遺産シンポジウム金沢2022」（金沢大学資料館と連携、参加人数159人）等、連携イベントを積極的に実施しました。
② 広報活動	・県立図書館に資料館の展示コーナーを設置し、石川の自然に関するトピックや資料館のイベントを紹介することによって、資料館のPRを進めました。 ・AIアプリを使った市民参加型生物多様性調査による連携を図る「生きもの市民調査プロジェクト」を立ち上げ、資料館の調査活動について広報しました。 ・講座の申込について、IT活用を目指しました。

(2) 令和5年度における取組内容の見直し等

実施内容
・「新収蔵資料の紹介等の小規模な特別陳列」（特別展）の実施を積極的に実施し、利用促進、拡大を図る。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H29～R1 年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準値比	R8年度 (目標値)
(1) 利用者数（人）	6,107人	2,920人	2,751人	3,546人	128.9%	58.1%	7,000人
(2) 館外事業参加者数（人）	1,955人	979人	947人	3,972人	419.4%	203.2%	7,000人
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス(%)	98.0	97.1	97.1	97.9	.80 _{ポイント}	-.10 _{ポイント}	95.0
施設の維持管理(%)	98.4	100.0	97.4	100.0	2.60 _{ポイント}	1.60 _{ポイント}	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	今年度は休館期間がなく、イベント等を中止することなく、活動することができた。展示見学等の一般来館者数も増加した。	基準値はコロナ禍の影響を受けていない期間の値であるため、昨年度も大きく目標値を下回っている。コロナ禍の影響を受け、団体利用等の件数が減少したことや利用人数を制限して館の運営を行ったことが利用者が増えなかった大きな理由である。
館外事業参加者数	人数制限緩和を受け、館外展示、館外イベント、出前講座等を実施することができ、参加人数も増加したことによる。オンラインイベントも前年度に引き続き開催した。	コロナ禍前と同様またはそれ以上に、館外展示、出前講座を実施することができた。また、連携事業による館外イベントやオンラインイベントを積極的に開催したために、参加者数が増加した。

<利用者アンケート結果（令和4年4月～令和5年3月実施 有効回答数56件）>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス(%)	85.4	12.5	2.1	0.0
施設の維持管理(%)	85.5	14.5	0.0	0.0

3 施設等の維持管理

項 目	実施内容
(1) 清掃	日常清掃:年180日 ワックス清掃:年2回 硝子清掃:年2回 受水槽清掃:年1回 廃棄物収集(プラ:月2回 金属:月1回 可燃物:週2回 不燃物:月1回)
(2) 設備保守点検	自家用電気工作物:月次点検月1回/年次点検年1回 昇降機保守点検:月1回 消防用設備機能点検:年1回/総合点検年1回 空調保守点検:年1回
(3) 植栽維持管理	除草作業:年2回
(4) 警備	機械警備(年中) 警備上必要な機器の管理
(5) 小規模修繕	調整池用立入禁止看板設置・地学標本整理室・自然たんけん広場エアコン修理・公用車エアコン修理・ストップランプ電球交換・男子トイレ光電センサー取替工事・受水槽定水弁・ボールタップ取替工事・渡り廊下漏水部防水塗装補修・地学標本室天井修理・ティーチャーズルームエアコンドレイン漏れ修繕・階段天井露受清掃ドレイン貫通・渡り廊下壁天井落下箇所修理・エレベーター修理箇所調査・煙感知装置修繕

4 管理運営体制

項 目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・危機管理マニュアルの策定 ・消防訓練の実施(年1回実施)
(2) 個人情報の管理状況	基本協定に基づき適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位:件)

項 目	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			
合 計	0	0	

(2) 使用料の収入実績(利用料金の収入及び減免の状況)

(単位:千円)

項 目	収入額	減免額	減免理由
該当なし			
合 計	0	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	45,599	人件費	24,816
利用料収入	0	光熱水費	8,075
その他	0	修繕費	575
		その他	11,861
合 計 ①	45,599	合 計 ②	45,327
収支差額 ①－②	272		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和4年5月	標本の作り方、保存方法などの説明があればいい。	標本に関する展示の作成を検討中である。
令和4年8月	(1)正面に駐車出来ないのを知らず、道に迷った。(2)企画展がない時期にも2Fの展示がもう少し充実してほしい。	(1)ホームページ等での説明を追加する。 (2)企画展がない時期の展示としてミニ展示「牧野富太郎の植物標本」を企画した。
令和4年12月	駐車場の位置がどこにすればいいか迷ったので案内がほしい。	駐車位置を示すサインを設置した。
令和5年3月	・化石を増やしてほしい。 ・恐竜の化石を展示してほしい。 ・楽しいものをおいてほしい。 ・サメの標本を作してほしい	展示資料の充実・改善の要望を真摯に受け止め、展示の拡充を目指す。

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
該当なし		

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	C	・ コロナ禍の影響で、団体プログラムの利用人数を制限しながらの運営であった。 ・ 普及講座や企画展は計画通り実施できた。しかし、講座の参加人数を制限したため、利用者数増にはつながらなかった。 ・ 館外展示や県立図書館等との連携イベントを開催し、館外事業への参加者増につながった。 ・ H P の充実に努めたが、今後、S N S を使った情報発信や学校等の施設訪問による P R 活動に努めてほしい。
(2) 施設等の維持管理	B	・ 施設内は清潔に保たれている。修繕等については、利用者の安全や利便性を考え迅速に対応するよう努めてほしい。
(3) 管理運営体制	B	・ 非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。 ・ 個人情報については職員に周知徹底が図られており適切な情報管理が行われている。
総合評価	B	・ 概ね仕様書に基づいた適切な管理運営がなされている。今後は適切な管理と、さらなる利用促進に向け、特に広報活動に力をいれた取組を期待する。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項